STAR-Eプロジェクト第４回研究フォーラム

情報科学×地震学
学官連携の未来像

情報科学と地震学の融合研究が
情報発信や防災関連技術に活用される未来とその道筋について考える

参加費無料

2024年 12月23日（月）

オンライン開催
15:00-17:35

講演者プロフィール

気象庁 地震火山部
地震火山技術・調査課　調査官

溜渕 功史 氏

気象庁、気象研究所で緊急地震速報等の自動震源決定の技術開発や地震活動研究に従事。現在は地震のデータ解析業務を担当し、深層学習を活用した自動震源決定の実装に取り組む。

講演タイトル
気象庁の地震火山業務における先端AI活用とその課題

講演概要
気象庁が発表する地震情報等の高度化に必要な先端AI技術の開発と、業務での活用に向けた取り組みを紹介する。

東北大学大学院理学研究科
地球物理学専攻　助教

加納 将行 氏

2014年京都大学大学院理学研究科地球惑星科学専攻で博士（理学）を取得。日本学術振興会・特別研究員（DC1）、東京大学地震研究所・特任研究員を経て、2018年より現職。海洋研究開発機構・招聘研究員を兼務。

講演タイトル
地殻変動検出と断層すべり推定の高度化に資する情報科学手法の開発

講演概要
STAR-Eプロジェクト東北大課題で実施している研究内容から、地殻変動検出と断層すべり推定の高度化に資する研究を紹介する。

ゲストパネリストプロフィール

気象庁 地震火山部 管理課
地震津波対策企画官

青木　重樹 氏

国土地理院 地理地殻活動
研究センター センター長

矢来 博司 氏

対象　情報科学、地震調査研究、防災、これらの連携に興味がある全ての方

主催　文部科学省　　**事務局**　EY新日本有限責任監査法人

お問い合わせ　Email　stare2021@jp.ey.com（担当 中前・郷田）

イベント詳細・お申し込みはこちら
https://evt-cipwos20241016.eventcloudmix.com/

募集締切　2024年12月23日（月）12:00

研究フォーラムプログラム

時間割	プログラム
15:00～15:05	**開会挨拶** 梅田 裕介（文部科学省研究開発局地震火山防災研究課 課長）
15:05～15:35	**講演①** 「気象庁の地震火山業務における先端AI活用とその課題」 溜渕 功史（気象庁地震火山部地震火山技術・調査課 調査官）
15:35～15:45	**質疑応答**
15:45～15:55	休憩（10分）
15:55～16:25	**講演②** 「地殻変動検出と断層すべり推定の高度化に資する情報科学手法の開発」 加納 将行（東北大学大学院理学研究科地球物理学専攻 助教）
16:25～16:35	**質疑応答**
16:35～16:45	休憩（10分）
16:45～17:30	**パネルディスカッション** 「情報科学×地震学　学官連携の未来像」 **ゲストパネリスト** 青木 重樹（気象庁地震火山部管理課　地震津波対策企画官） 矢来 博司（国土地理院 地理地殻活動研究センター センター長） **パネリスト（STAR-E 研究代表者）** 内出 崇彦（産業技術総合研究所 地質調査総合センター 上級主任研究員） 加納 将行（東北大学大学院理学研究科地球物理学専攻 助教） 庄 建倉　（統計数理研究所 統計基盤数理研究系 教授） 長尾 大道（東京大学 地震研究所 准教授） **進行** 久利美和（文部科学省研究開発局地震火山防災研究課測地学専門官）
17:30～17:35	**閉会挨拶** STAR-Eプロジェクトマネージャー　樋口 知之（中央大学理工学部 教授）

STAR-Eプロジェクトとは？

STAR-Eプロジェクトは、情報科学の知見を採り入れた新たな地震調査研究を推進するためのプロジェクトです。

情報科学と地震学の、両分野の連携を促進する様々な取組により、次世代を担う若手研究者の育成も含めた、「情報科学×地震学」分野全体の発展を目指します。

STAR-Eプロジェクト ホームページ

https://www.mext.go.jp/a_menu/kaihatu/jishin/projects/index.html

※ ご提供いただいた個人情報は、事務局（文部科学省、EY新日本有限責任監査法人（本事業に係る委託事業者））及び登壇者が、本プロジェクトのイベントにおいてのみ使用し、事務局においてその保護について万全を期すとともに、ご本人の同意なしに事務局及び登壇者以外の第三者に開示、提供することはございません。